

# 厚物合板で壁・屋根・床を構成

## 一般流通材で中大規模木造対応

### ポラス建築技術訓練校

ポラスグループ（埼玉 国土交通省のサステイ  
玉県越谷市、中内晃次 ナブル建築物等先導事  
郎代表）のポラス建築業（木造先導型）にも  
技術訓練校は、同社の 採択されている。  
木造技術を集めて建設 訓練校の実習棟は12  
された。2015年度 X30サイズの平屋建ての建



屋根構面は24mm構造用合板で剛性を高めた

物で、柱、耐力壁は外  
周部に配置。実習する  
場所は無柱大空間にな  
っている。

部材は木造住宅用に  
一般流通材として調達  
できるサイズ。柱は合  
わせ柱として105mm  
角を16本合わせて一体  
化した420mm角。梁  
も合わせ梁・重ね梁で  
12mmスパンを飛ばして  
いる。梁は1500mm  
ピッチで入れ、その上  
に構造用合板24mmを載  
せて75mmピッチで釘を

打ち床倍率4・5倍の  
高い剛性の屋根面を構  
成した。合板は千鳥で  
はなく、イモツギで施  
工。床は構造用合板28  
mmを使った。  
長方形の建物の短辺  
方向に耐力壁を集中し  
て配置し、105×1  
80mmの扁平柱を79  
5mmピッチで入れ、合  
板を受ける溝加工を行  
い24mm構造用合板を50  
mmピッチで釘打ちして  
11倍相当の壁を構成し  
た。「3層くらいは非  
住宅の耐力壁を一般流  
通材の活用で合理的に  
作ることが課題」（照  
井清貴ポラス暮らし科学  
研究所構造グループ  
と話す。

3×6判の合板4枚の  
一部をカットして張り  
付けた。厚物合板のた  
る（同）。非住宅用  
の高倍率壁の場合、構  
造用合板だけでなく、構  
造用合板だけだとなく、  
施工性を考慮するとC  
材が必要になる。  
受け材が必要になる。  
非住宅用に階高が高  
く高倍率の耐力壁が必  
要な場合の標準的な仕  
様が定まっておらず、  
標準仕様から階高や必  
要壁量に応じて選択で  
きるシステムの構築で  
非住宅用の構造用面材  
の需要が一層高まると  
見られる。竣工は16年2月。3  
階建て事務所棟と合わ  
せて延べ床面積は13  
71・33平方メートル。設計  
はポラテック、ポウハ  
ウス一級建築士事務  
所、施工はポラテッ  
ク、技術協力はポラス  
暮らし科学研究所。

が6660mmと高く、  
訓練校の場合は階高  
が6660mmと高く、  
開口部付き耐力壁  
暮らし科学研究所。